NIE実践報告

1．タイトル：☆「見学旅行新聞」を作ろう

2．学校名

北海道寿都高等学校

3．実践者名（代表者名）

宮澤正行

4．学年

第2学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

現代文　36人

6．単元（本時の学習課題）名

見学旅行グループ研修のまとめ

7．目標(狙い)

見学旅行の京都・東京のグループ自主研修のまとめを行う。自分たちが撮った写真や、パンフレットをスキャンしたものを見やすいレイアウトを意識しながら、新聞の地域面のようにして作成する。

8．評価の視点

研修内容を上手に文章化して、読み手にやさしいレイアウトを構成できたか。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

「課題を探求し、その成果を発表したり報告書にまとめたりする」（教科書教材：大修館書店）6時間

10．単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

①グループごとに写真やパンフレットを持ち寄り、どのような構成にするか話し合う。その際、事前に配布された新聞記事の構成を参考にする。（1時間）
②情報処理室にて、一太郎にて作成された見本（教師作成）をPC画面上で確認する。そして、罫線・縦書き横書き・レイアウト枠・写真（スキャンしたもの）挿入の方法を覚える。（1時間）
③グループ一人一人に自分が作成する部分を割り当て、個々にPCにて作成する。（3時間）
④個々に作成したものを、A3の大きさにまとめる。（1時間）

（留意点）
・インターネットからの情報の集め方に注意させる。
・何度か、A3用紙をプリントアウトして、見やすい構成になっているか確認させる。
・客観的な歴史的史実と、主観的な旅行記の部分を区別して文章化させる。

11．児童・生徒の反応、感想・意見

PC処理は個人的な側面が強くなってしまうが、個々に記事作成をして、その記事を一つのものに構成していく過程は新鮮さを感じていたようである。日常、新聞を読んではいるが、実際に情報を発信する側の大変さを経験した。

12．成果と課題

「ただ作ればいい。書けばいい」という作業的な学習から、読み手にどのような工夫をすれば伝わりやすいかということを、新聞のレイアウトを参考にして取り組ませ、効果があった。字間・フォントという細かい部分にまで神経を使い、言葉の表現ができ、研修録の冊子に載せる予定である。言葉の表現、情報発信という分野を3学年でどのような単元で扱い、発展させていくかが課題となる。